

# 横芝 ロータリークラブ



## 会報

創立 昭和41年10月6日  
承認 昭和41年11月21日  
例会日時 毎週木曜  
(12:30~13:30)  
(第2・第4例会18:00~19:00)  
例会場 中国ダイニング富士屋  
(横芝駅前)  
事務局 〒289-1732  
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6  
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178  
ホームページ  
<http://www.yokoshiba-rc.jp>  
Eメール [info@yokoshiba-rc.jp](mailto:info@yokoshiba-rc.jp)

2007~2008 RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
第2790地区ガバナー 白鳥政孝 第6分区ガバナー補佐 秋葉吉秋

平成20年3月13日発行 NO.1839 第1967例会 会報委員長 伊藤迪彦

### 例会報告 平成20年3月13日)

#### 夜間例会 (18:00 富士屋)

点	鐘	会 長	齋藤逸朗
ソ	ン	グ	「我等の生業」
唱	和		「四つのテスト」
会 長	挨 拶	会 長	齋藤逸朗
会 務	報 告	会 長	齋藤逸朗
幹 事	報 告	幹 事	石田喜一
プログラム			

ご来訪者紹介 西浦光寛様

### 会長挨拶



皆さん、こんばんは！景気の行方が見えにくいと言われる時代が続いています。皆さんの会社ではいかがでしょうか。私の会社も今必死でもがいています。

私個人、19日より3日間ビッシリ企業研修を行います。短期的、長期的戦略で計画を立て、計画変更の連続です。

しかし、企業として生き残るのは、恐竜時代より習い強いものではない事を学習します。いかに環境に適應できるかは大切な事です。今、世の中で最も欠けている必要なものは企業理念、ビジョンだと考えます。

人生理念、人生ビジョンがあり、人を喜ばせる、喜ばれる事を生きる目的に見つける事。又、その実践をする事が大切な事だと思います。そこで、ロータリーの理念を学ぶ事で、組織の事など色々な事がわかってくる様な気がします。一言では”共に生きる愛”ではないでしょうか。

西浦光寛様、ようこそいらっしゃいました。西浦様に関しましては、すでに3月6日の理事会におきまして、4月3日(木)の例会に入会式を予定しております。新しい仲間が増えましてとてもうれしく思います。

### 幹事報告

#### ①例会変更のご案内

・多古R. C.

3/18(火) 夜間例会

白鳥ガバナー・秋元パスタガバナー来訪

17:30点鐘

19:00懇親会『萬勢庵』

3/25(火) 休会

・茂原中央R. C.

4/8(火) 18:00点鐘 会場『くぼ田』

15周年記念例会反省会

4/29(火) 休会(定款第5条第1節適用)

#### ②ガバナー事務所よりFAXが届いております。

・2007年ロータリー世界平和フェロシップについて

・世界平和フェロシップ第7期生(2008-2010年度)ロータリー・センター・ホステリア・セミナー開催のご案内

・2010年規定審議会 立法案の提出について

・RI賞および表彰のご案内

#### ③週報受領クラブ

・多古R. C. ・八日市場R. C.

## ■ 委員会報告

### ◇ 地区チーム研修セミナー報告（クラブ奉仕委員会）

崎山ガバナーエレクトの考え方  
地区クラブ奉仕委員 菅井直秀



#### 1. クラブ奉仕委員会

クラブ奉仕はロータリーの根幹です。クラブサービスは例会出席から始まります。そして全てのクラブ行事への出席、お世話、立派な友人を推薦して会員数を増やすことが立派なクラブ奉仕です。情報委員会、広報・IT委員会、会員増強委員会をクラブ奉仕委員長が取りまとめて頂き、地域に根ざしたロータリーの実現を目指してください。

①情報委員会：上半期に地域情報委員会を開催してください。

ロータリー情報とはロータリーの過去、現在、未来に亘る「ロータリーの実情」を認識することによりその「考え方」をよく理解することです。そして変化しないロータリーの情報としてRI、地区、クラブの管理運営の骨格である「綱領」「奉仕の理想」「四代奉仕」「四つのテスト」などの基本原理、理念は変わらない事を理解することです。変化するロータリー情報としてはこれらの展開に関するプロジェクトや、新規プロジェクト、活動的なロータリークラブに関する事で、これらの事を情報研究会などの場で、平均的で行き届いた情報を提供する事が大事です。情報提供を怠ると新入会員の入会後の活動やロータリーのあり方に多大な影響を与える可能性があります。ベテラン会員にも変化しない情報の確認と新しい情報を提供してロータリーが時代と共に変化し進化していることを理解してもらう事が大事です。

②広報・IT委員会

ロータリーの歴史、綱領、規模を一般に知らせる方法を考案し実施します。日本人には特有の「陰徳の美」の価値観があります。良い事には目立たないようにそっとするという考え方です。しかし21世紀のロータリーの会員だけでなく、一般社会人の意識と価値観も著しく変化しており、ロータリークラブ

活性化のためにも地域社会においてロータリーイメージを高める為に地元の人々や、報道機関に積極的に広報することが大事です。又、そのためにもスピードある伝達方法であるITが強力な武器となり、外部にも内部にも「ロータリーとは何か」という情報を広く広報する事ができます。又、内部においてもDLP、CLPを広く情報伝達する手段としても重要と考えます。

③会員増強委員会

李東建（D. K. Lee）RI会長エレクトより必須事項として2009年3月31日までに1名の会員純増（推奨目標：10%の会員純増）が掲げられました。

「数は力なり、質は強さなり」といいますが、会員増強は何時の時代にも大事な目標であり、ロータリークラブの力の根源となります。

「言うは易く、行うは難し」今世の中は、政治、経済環境など決して甘くはありません。しかし、委員会も皆さんは増強成功例の情報収集とともに、良質なロータリー情報を広く広報として、潜在的に皆さんが持っている「友人」を会員として迎えることが出来るよう努力しましょう。ロータリーは「友人」の集まりです。「知人」の集まりではありません。

### ◇ 地区チーム研修セミナー報告（社会奉仕委員会）



地区社会奉仕委員 土屋俊夫

#### 2. 社会奉仕委員会

社会は今、多様化の一途をたどるなか、地域社会のニーズに対して、ロータリアンが地元地域社会において効果的かつ重複しない奉仕を引き受ける各種やりがいのある機会は依然として存在します。効果的な社会奉仕をする基礎として、RIは人間尊重、地域発展、環境保全、共同奉仕を奨励しています。皆様には地域社会のニーズに積極的に関心を示し、会員がこれに精通し、クラブに対して財政的貢献ばかりでなく、「実際に汗を流すような」社会奉仕プロジェクトを開始推進する事を奨励してください。さらに次年度のRI会長のテーマ「愛をかたちに」を念頭に五歳未満の子供の命に光をあてたプロジェクトの推進を奨励してください。

## ■ ひとくちロータリー情報

### ＜職業奉仕と社会奉仕の違いについて＞

クラブ情報委員会 富一美委員



今回、私がかねてより分かりづらいと思っておりました職業奉仕と社会奉仕の違いについて、調べておりましたところ何点かの調査によりまして明確になりましたので、皆さんにご報告させていただきます。

すでに、十分理解していると言われる方がおりましたら、ご了承下さい。

職業奉仕と社会奉仕をどの様に区別するのかというお話について自分の職業を通して社会に奉仕をするということ、多くの皆さんはこれが職業奉仕と思っている方が大半だと思いますが、自分の職業を通して社会奉仕をする事は職業奉仕ではなくこれは社会奉仕なのだという事です。

職業奉仕と社会奉仕の違いは受益者が誰であるかで分けられると言う事であります。

- ① 受益者が地域の人々、地域社会の人が受けるのが社会奉仕であり
- ② 受益者が自分が受けるのが職業奉仕だと言うことです。

ですから自分の職業を通して社会奉仕をする事は奉仕を受けるのは地域の人々であるのでこれは社会奉仕になるとの事であります。

「最も奉仕するものは、最も報われる」と言うロータリー用語がありますがまさにこれが職業奉仕だと言うことでございます。

また、奉仕の心とは一つの心であるとも言っております。一つの心とはどういうことかと言いますと世の為、人の為に奉仕をする心を持って職業を営む心と言っております。

次に、ロータリーの奉仕の概念をロータリー運動の実体に即して説明するとき理論と実践とに分けると理解しやすいとしております。理論はロータリー思想であると共にロータリー哲学であり、

具体的にはロータリークラブという組織を介して学ぶ[奉仕の心の形成]であって、それは結果として親睦につながるものです。

① 理論はロータリー運動の根幹をなす絶対的条件であって、これを欠くとロータリー運動は成立しないとしております。

② 実践は行動であり、ロータリアン個人が行う[奉仕の実践]を意味するものであって、実践の伴わない理論は空虚なものに過ぎないとしております。

ロータリー運動とは、本来一人一業種で選ばれた良質な職業人であるロータリアンが毎週一回定例のクラブ例会に集いまして、そのクラブ例会で学ぶロータリーの奉仕理念、すなわちロータリーの哲学は職業奉仕の理念であり、その心を持ち帰って、ロータリアン個人の立場でそれぞれの家庭や職場や地域社会や国際社会で[奉仕の実践]に移すことであるとしております。

又、理論と実践は車の両輪のごとく、バランスをとって廻らなければならないとしております。

ロータリークラブとロータリアンが示す実践によって、ロータリー哲学に基づいた奉仕活動の有効性を社会一般の人に実証し、広げていかなければならないのです。

奉仕活動への具体的な取り組み方を、二、三の例をあげて説明してみたいと思います。

寝たきりの配偶者をかかえて、途方にくれている老人家庭を知り、それを[奉仕の機会]と捉えたロータリアンがいると仮定します。先ずその事実、社会奉仕委員会を経て理事会に報告されなければなりません。理事会は社会奉仕委員会の仕事として、テリトリー内の寝たきり老人の実体を調査すると共に、当面の打開策として、医系会員に協力を要請したり、行政と折衝したり、ホームヘルパー派遣の手助けをします。一日も待てないほどの緊急性があれば、社会奉仕委員会の予算やニコニコ箱から、ホームヘルパー派遣費用を捻出する場合もあるでしょう。

寝たきり老人の実体調査の結果、その対策がされていなかったり、不十分なことが分かれば、その施策実現に向けての活動を開始しなければなりません。会員の中には医師もいるはずだし、社会福祉のベテランや福祉行政のブレイクの存在の人もいるはずで、自治会や老人福祉団体などの地域社会の人々を取り込むことも重要でしょう。それらの人たちと力を合せて、行政に良い意味での圧力をかけることが効果的な場合もあります。

寝たきり老人対策が、行政の責任であることを理解させて、ホームヘルパー制度や訪問診療や施設収容等の施策を行政が実施するようになれば、この件に関するロータリークラブの任務はひとまず終わりになります。そして、ロータリアンとロータリークラブは、次の奉仕のニーズを求めて行動を開始するのです。

医系のロータリアンが個人の資格で訪問診療を続けることは、一向にかまいません。しかし、いくら効果的な方法だとしても、クラブがホームヘルパーの費用を負担し続けることは不可能だし、たとえ可能であってもなすべきではありません。

奉仕の機会が身体障害者問題であっても、同様な過程を踏むことになります。もし、行政にそれに対処できる能力がなければ、ロータリアンが業界や地域社会を取り込んで、財団法人や社会福祉法人を設立し、授産場や保護施設を作ったり、また企業の協力を得て身体障害者の雇用促進を企むべきだし、実際に、そのような専門の処理機関を設立して、それらの事業を実施している例は枚挙にいとまがありません。

### <ご提案>

クラブ奉仕委員長として一つご提案がございます。

それは、仮に「お茶会ミーティング」とでも名付けるといたしましょうか？

今後、例会終了後において、もし時間をとって頂けるようであれば、一階におきまして、先輩ロータリアンと新入会員さんとで300円のコーヒーを飲みながら、20分でも30分でも結構だと思いますので、お互いを知り合う機会やロータリーライフを好きになるような機会にさせていただけるよう、ご提案を申し上げたいと思います。

特に、先輩ロータリアンさんには、ミニロータリー情報を含めて、新入会員さんに早くクラブに馴染んでいただくためにも、進んでお願いしたいと思っております。

どうぞ、宜しくお願いいたします。



### ◇ 出席委員会行木委員より

3月7日に行われました出席委員会ファイヤーサイドミーティングの報告

・7月から2月までの出席状況

残り約4ヶ月、出席率100パーセントを目指します。是非メイクアップをして頂きたい。



出席委員会 行木英夫委員

### ■ ニコニコボックス

斎藤逸朗君・富一美君・石田喜一君

…（出席委員会“インホームミーティング”に出席しました）

菅佐原盛治君…（聖路加病院の人間ドッグに入った結果異常なしでした）

斎藤正勝君 …（プレザーのボタンを頂きました）

野瀬清君・小林定雄君

…（誕生祝を頂きました）

高田一行君 …（結婚記念祝をいただきました）

小沼孟君 …（新入会員がたくさん入って頂いたので）

本日計	22,000円
累計	850,600円

### ■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
3月13日	42	30	12	100.0

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆